

3月の休館日

6日(月) 13日(月) 19日(日) 20日(祝・月) 27日(月)

浪江in福島ライブラリー きぼう
(仮設浪江図書館)

Tel・Fax 024(573)4295

E namielib@gmail.com

〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

◆貸出冊数 1人5冊まで ◆利用時間 9時~17時
※お気軽にご利用ください。



読んでみませんか

3.11から6年目の春を迎えようとしています。今月は原発事故と復興についての本を選んでみました。



「福島を切り捨てるのですか “20ミリシーベルト受忍論”批判」

白井聡/著
かもがわ出版2015

福島で避難指示解除の目安とされる年間被曝量20ミリシーベルト受忍論の問題点や課題について国主導の従来型の経済優先の復興ではなく、地元優先の地元主導の地元に見合った復興を模索する…等



「人間なき復興 原発避難と国民の「不理解」をめくって」

山下祐介・市村高志・佐藤彰彦/著
筑摩書房2016

復興がうたわれ、政府は避難解除へ突き進んでいるように見える。

避難生活の現実、将来の見通しが立たない生活、健康被害の心配等原発事故被災自治体住民の赤裸々な告白を社会学者が読み解き「人間のための復興」とは何かを問う。



「福島の声を聞こう！ 3.11後を生き抜く7人の証言」

渡辺一枝/著 オフィスエム2014

震災後、東京・神楽坂のセッションハウスで催されている渡辺一枝の会「福島の声を聞こう！」の記録集。

国や東電への怒りよりも、原発事故がもたらした深い哀しみ、絶望の中で希望の灯を見つけようとする前向きな姿勢が伝わります。

有料広告を募集します

(平成29年5月号~平成30年4月号分)

問 復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

全国に避難している町民の皆さんへ発送している広報誌は、皆さんの目に触れる機会が多く、高い宣伝効果が期待できます。なお、応募多数の場合、ご希望にお応えできない場合があります。

■募集期間

3月1日(水)~31日(金)

※締め切り後も枠に空きがある場合は随時受け付けます。

■掲載場所

- 各ページ(表紙除く)の下段(1色刷り)
- 最終ページ(4色刷り)

■申込み方法

申請書に必要書類を添えてお申込みください。※申請書が必要な方は、郵送しますのでご連絡ください。町ホームページからもダウンロードできます。

■広告の大きさ

1 枠 縦47mm×横88mm

※広報紙1号につき2枠まで(最終ページは4枠まで)掲載できます。

区 分	広告掲載料 (広報紙1号あたり)	
	1色刷り	4色刷り
●平成23年3月11日において、町内に事務所または営業所を置いて、東日本大震災後事業を再開したもの。	5,000円	10,000円
●浪江町に住所を有し(東日本大震災以降住所を有さなくなったものを含む)、東日本大震災後に新たに事業を開始したものおよび復興に寄与する事業を営むもの。		
●上記以外のもの	10,000円	20,000円

↑これが1枠の実寸サイズです。